

定期点検の義務化

再生可能エネルギーの導入促進に係る制度改革について
新認定基準（新法9条3項第一号） 適切に点検・
保守を行い発電所の維持に努めること

不十分な設計施工やメンテナンスが増加し、上記条文のように定期点検が義務化されました。また、遵守されない場合は「改善命令」や、「認定取消」の措置も含まれ著しく厳格化。そのため発電事業者は、エネルギーの安定的な供給を行うための対策が必要となりました。

実際に起きている、トラブル

施工不十分による発電所倒壊。放置していた為の雑草による発電量低下、動物の衝突によるパネルのクラックなど、様々なトラブルが引き起こされているのが実情です。決してメンテナンスフリーではありません。状態監視を日常的に行う必要があるのです。



自然エネルギーの可能性

私たちの、生活に欠かせない電気。今までは原子力による電力供給によって賄われ、安全なエネルギーとしてその恩恵を享受してきました。ところが、東日本大震災における大変な事故を目の当たりにし、その安全神話は崩壊。ほとんどの原子力発電所は停止を余儀なくされ、現在に至ります。

太陽光発電所を始めとする自然エネルギーの活用は、現在の私たちのエネルギー事情をポジティブに変化させています。皆様がエネルギーを管理する事業者となり、日本のエネルギーを創出していくことが、様々なシステムを利用することでその運用が費用対効果を含め、可能な社会になりました。

私たちは発電所システム設置工事を行い、安全な運用をIoT技術を駆使し弊社独自のモニタリングシステム「発電所長」から、エネルギー監視を行っています。皆様と共に、柔軟で安定した新エネルギー社会を目指しています。



発電所長®

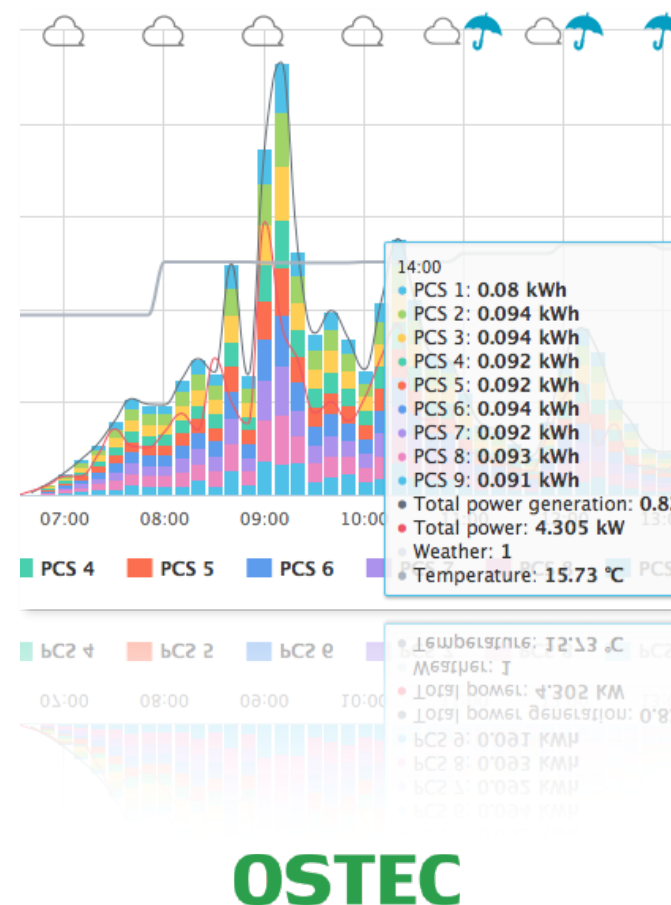
岡村産業 営業本部静岡支店

静岡県静岡市駿河区南町10-6 村上駅南ビル7階
発電所長サポートデスク

☎ 054-280-2339 ✉ support@ostec.jp



『発電所長』の、ソーラーエネルギー運営サポート。



ソーラー事業を安定稼働。 モニタリングメーカーによる O&Mサポートです。

各種PCSの状態確認参考画面

PCS 1	
 Operation	DC 0.730 kW 406.900 V 1. AC 0.600 kW 207.600 V 3.
PCS 3	
 Operation	DC 0.550 kW 444.200 V 1. AC 0.470 kW 207.400 V 3.
PCS 5	
 Operation	DC 0.550 kW 441.600 V 1. AC 0.470 kW 207.500 V 3.
PCS 7	
 Operation	DC 0.690 kW 395.900 V 1. AC 0.560 kW 207.300 V 3.
PCS 9	
 Operation	DC 0.570 kW 439.500 V 1. AC 0.470 kW 207.300 V 3.

カメラモニタリング

視覚による、発電所チェックでは、グラフには知り得ない現地の雑草の状態やパネルの汚れ、割れなどを素早く知ることが可能です。



ステータスエラー

パワーコンディショナーからの信号を受け、どのような故障が起こっているのかを、システムを通じて確認ができ、現地対応への対応もスピーディです。

遠隔制御でスイッチオン

モニタリングシステム『発電所長』には遠隔制御システムにより、現地に行かずに止まってしまったPCSを素早く再連系できる機能が搭載。

故障の際の駆けつけ

物理的問題による、現地トラブルには、駆けつけサポートを行います。これにより、早期解決復旧が可能となります。(オプション)

モニタリングシステムの重要性

改正FIT法に適した運用、恒常的に発電所の状態監視を行うには、O&M（オペレーション&メンテナンス）を想定した、計測監視システムの導入が必須です。

「発電所長」は、発電量を計測するだけでなく、PCSからのデータ取得を詳細に行い、さらに高圧は遠隔操作によるPCSの制御が行える、システム保守と点検に重きを置いた監視装置を供給し、保全と安定的な運用の大半を担い、現地点検との融合により安定した運用サービスWeb巡回サービスを展開しています。

遠隔制御が売電ロスを最小化

国内特許を取得した発電所長の遠隔制御機能は高圧発電所向けのシステムです。何らかの原因でPCSが停止状態の場合、ブラウザ上でPCSのスイッチを入れ、速やかに再連系させることができます。売電ロスを圧倒的に最小化させることが可能な、高圧のO&Mに必須の、唯一の遠隔制御付き監視システムです。(PCS種次第では、ステータスリセットも可能です)

